

特定非営利活動法人宇都宮市国際交流協会 中期経営計画評価表（平成30年度実績）

平成31年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市馬場通り4丁目1番1号 うつのみや表参道スクエア5階			設立年月	平成9年4月
市所管課	市民まちづくり部 国際交流プラザ			代表者	理事長 臼井 佳子
ホームページアドレス	http://www.ucia.or.jp				
基本財産（資本金）	—		主な出資者	出資額	出資割合
	—		—	—	—
	—		—	—	—
市出資額	—		—	—	—
市出資割合	—		—	—	—
設立目的等	市民主体の国際交流活動の推進				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流・多文化共生に関する研修・講習会及び啓発事業 国際交流・多文化共生に貢献できる人材の育成 外国人住民、留学生との交流及び相談・支援事業 				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員						
	常勤	理事	うち市OB		正規職員等			嘱託・臨時職員等			
			1	1	0	0	0	0	6	0	
非常勤	監事	0	0	再雇用職員 （フルタイム）	0	0	再雇用職員 （短時間）	0	0	11	0
	理事	25	2	派遣等職員	0	0	臨時職員等 （アルバイト等含む）	1	1		
	監事	2	1	市OB職員	1	1				計	17
計		28	4	計	1	1	計	17	0		
役員の平均年齢（歳）		68.0	役員の平均年収（千円）			情報公開制度の有無			0		
職員の平均年齢（歳）		53.7	職員の平均年収（千円）			個人情報保護体制の有無			0		

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	備考
資産	15,966	14,291	14,584	15,817	
負債	696	772	985	1,266	
（うち損失補償等額）	0	0	0	0	
純資産	15,270	13,519	13,599	14,551	
（うち利益剰余金）	△ 196	△ 1,751	80	1,952	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	備考
総収入	50,639	50,765	53,317	51,376	
（うち市補助金等）	12,045	12,133	12,925	11,669	
（うち市委託料等）	24,424	23,852	23,104	22,944	
経常損益	1,893	△ 39	1,508	3,415	
当期損益	△ 196	△ 1,751	80	1,952	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

【宇都宮市国際交流協会】

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
1	自主事業の改善	安定経営を図るために、これまで拡大してきた事業の見直し検討を行う。	62事業	69事業	63事業	62事業	71事業	

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
2	国際理解のための講師派遣	市民に対する国際理解講座を通して、各地域での多文化共生への理解を深める。	29講座	32講座	32講座	32講座	35講座	

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
3 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	8,454千円※	12,045千円	12,133千円	12,925千円	11,669千円	
4 (共)	市からの委託料の適正化	継続的な見直し	24,463千円	24,424千円	23,852千円	23,104千円	22,944千円	
5	会員拡大方策に対する取組	31年度会員数510名	486名	537名	570名	528名	585名	

※No.3 基準値（H26）は1名欠員による人件費減の数値である。

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
6 (共)	常勤役職員数の適正化 (派遣を除く)	職員の適正配置	7人	7人	7人	7人	7人	

Ⅲ 総合評価

<p>団体による 自己評価</p>	<p>【評価】 自主事業において、市民が外国語に接する機会の拡大を図るため、イタリア文化セミナーをはじめとした8つの外国語講座を新規に実施したほか、国際理解の醸成を図るため、各学校や生涯学習センター等で実施される国際理解講座に積極的に講師を派遣するなど、多文化共生社会の実現に向け、事業の充実と公益的活動の推進に取り組んだ。また、協会の認知度向上のため、ホームページや協会案内チラシ、情報スクランブル等の情報誌を活用し積極的な広報活動を行ったほか、9つの事業委員会が有機的に連携を図りながら事業活動の強化に努めたことなどから、会員の拡大に繋がった。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法令の改正など社会環境の変化などに伴う市民や外国人のニーズを的確に捉えた事業の検討 ・安定的な運営に向けた収益事業の継続実施と会員数の拡大 ・協会会員活動の促進と会員相互の連携強化
<p>所管課による 評価</p>	<p>【評価】 自主事業の改善にあたっては、随時市民ニーズの把握に努め、内容の見直しや新たな外国語講座の実施など、取組を進めている。 また、地域における公益的活動の推進にあたっては、保有する人的ネットワークを活用し、国際理解のための講座への講師派遣数も着実に増加しており、各地域の多文化共生への理解の場の創出を図り、市民の意識醸成に努めている。 健全経営の維持に向け、自主財源の確保については、自主事業の継続的な改善による、より魅力的な語学講座の実施に取り組み、事業収入の確保に努めるほか、各事業委員会があらゆる機会を捉えて積極的に広報活動に取り組むことにより、新たな会員の加入促進に努めており、結果、会員数は目標値を上回った。 今後も引き続き、会員拡大と併せて、安定的な運営に向けた収益事業などの実施による自主財源の確保に努め、経営基盤の強化に取り組むとともに、本市国際化を取り巻く社会環境の変化に対応できるよう市民主体の国際交流・多文化共生を促進する幅広い事業を行うことを期待する。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズ及び外国人住民の増加など社会の動向を捉えた効果的な事業の検討・実施 ・収益性のある事業や会員増に向けた取組の継続実施 ・会員に対する事業参加促進や連携、活動支援の強化